

(1) 実施機関名：

情報通信研究機構

(2) 研究課題(または観測項目)名：

先端リモートセンシングによる地震及び火山の被害状況把握技術の高度化

(3) 関連の深い建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整備

(3) 研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

イ. 観測・解析技術の開発

ウ. 地震・火山現象のデータ流通

エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 総合的研究との関連：

(6) 平成30年度までの関連する研究成果(または観測実績)の概要：

平成30年度までの期間において、航空機 SAR (Pi-SAR・Pi-SAR2) により火山地域や地震被害地域の観測を適宜実施するとともに、取得した観測データについて観測データ検索・配信システムにて公開した。また、火山噴火予知連絡会火山活動評価検討会報告(平成21年6月報告 参考資料1(監視・観測体制の充実等が必要な火山の選定理由取りまとめ資料))で記載されている火山(99箇所)のうち、平常時における火山観測を41箇所完了させた。

合わせて、SARにより取得された観測データを活用するため、地震・火山災害時の被害判読等の技術開発を行った。

(7) 本課題の5か年の到達目標：

航空機 SAR を用いた地震及び火山による災害状況を把握する技術の発展的な開発を行うとともに、これまで収集した航空機 SAR データの公開を推進する。災害時等には航空機 SAR の積極的な運用を行う。

また、航空機 SAR 以外のリモートセンサを活用する技術を開発する。

(8) 本課題の5か年計画の概要：

情報通信研究機構の第4期中長期計画期間である平成32年度までにおいては、以下の研究活動の実施を計画している。平成33年度以降については、次期中長期計画の策定に合わせて検討を進める。

平成30年度までの成果を引き継ぎ、Pi-SAR2により地震・火山災害時に取得したデータから被害を判読する技術等の開発を進める。これまで航空機 SAR (Pi-SAR および Pi-SAR2) で取得したデータの観測データ検索・配信システムによる公開を進めることにより、災害軽減のための情報利用技術の高度化に関する研究に資する。また、実際の災害発生時には、航空機 SAR の積極的な運用と迅速なデータ配布・公開を行う。

さらに、航空機 SAR 以外の先進的リモートセンサを活用した地震及び火山災害のモニタリング技術についても検討をすすめる。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

情報通信研究機構 電磁波研究所

他機関との共同研究の有無 : 無

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 情報通信研究機構広報部

電話 : 042-327-5322

e-mail : publicity@nict.go.jp

URL : <http://www.nict.go.jp/>

(11) この研究課題 (または観測項目) の連絡担当者

氏名 : 中川勝広

所属 : 情報通信研究機構 電磁波研究所